

普及活動情勢報告（令和5年12月分）

中央東農業振興センター農業改良普及課

季節の変わり目、冬のハウスの温度変化をデータで確認！～ニラ部会栽培講習会～



活発に意見交換されています

11月21、22、24日、JA高知県香美地区ニラ部会が栽培講習会を開催し、生産者48名が参加しました。日程・開催場所を分けて開催したことで多くの生産者の参加につながりました。

農業改良普及課は、SAWACHIに上がってくる管内のハウス内環境データや気象データを用いて、冬のハウス内の温度管理について指導しました。

生産者からは「温度の変化をグラフで確認できて参考になった」といったデータ活用に前向きな意見や「加温機の温度設定はどうしたらよいか」「寒波時の対策事例を知りたい」といった具体的な管理について活発な質疑があがりました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、ニラの安定生産に向けて支援します。

集落営農の先進地、島根へ視察研修～南国市集落営農塾～



集落営農組織の代表者から話を聞く参加者

11月27～28日に、南国市集落営農塾として集落営農の先進地である島根県東部地域への視察研修を実施し、生産者や関係機関計9名が参加しました。

農業改良普及課は、事前に島根県における集落営農法人の事例を集め、視察先として提案しました。

当日は3つの集落営農組織から、少量多品目の園芸作物の栽培と加工、ほ場整備を契機としたタマネギの導入、水稲と麦・大豆との大規模輪作体系について話を伺いました。

参加者からは「どのような機械を導入しているか」「今後の後継者の確保の見通しは？」などの質問があがりました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、集落営農の組織化及び組織のステップアップを支援していきます。

データ駆動型農業で冬季の収量アップを目指そう！
～南国市ピーマン・シントウ合同勉強会～



植物生理を説明する
普及指導員

11月29日、JA高知県土長地区本部で、ピーマン・シントウ合同勉強会を開催し、南国市の生産者16名が参加しました。

農業改良普及課は、IOPクラウド「SAWACHI」の機能紹介と植物生理に基づいた温湿度管理について説明しました。

生産者からは「収量の目標設定をSAWACHI上で入力した」「温度設定について、オランダ型の変温管理を実践してみる」といった前向きな意見が聞かれ、品目は違えど課題や対策は共通する部分が多く、たくさんの質問が出される活発な会となりました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、普段関わりの少ない生産者同士の交流も深まる機会となるよう合同勉強会の開催を支援します。

仲卸業者との意見交換～青年農業士中央東ブロック連絡協議会～



盛り上がった意見交換会

12月5日、大阪市中央卸売市場で、仲卸業者との意見交換会を開催し、中央東ブロック管内の青年農業士4名が参加しました。

農業改良普及課は、意見交換会のスケジュール調整や話し合うテーマなどの協議を重ね、活発な会になるよう支援しました。

会では、管内の農産物PR、青年農業士の活動紹介をした後「コストアップの情勢を踏まえた農産物への価格転嫁」をテーマにグループディスカッションを行いました。

参加者からは「会を重ねて産地側と仲卸業者側が情報共有を行い、改善策を検討していく事が大事だ」との声が聞かれました。

農業改良普及課は、青年農業士自らが資質向上できるよう、活動を支援していきます。

冬の気象が不安定でも反収増を目標に！～洋菜部会栽培講習会～



講習会の様子

12月8日、JA高知県香美地区洋菜部会が青ネギの栽培講習会を開催し、生産者34名が参加しました。

農業改良普及課は、冬期の寒害や防風対策に加えて、冬季でも乾燥時には積極的にかん水することで生育と収量増につながることを説明しました。また、べと病の感染適期での予防防除や生育促進と増収効果が確認された亜リン酸セル苗施用試験結果を紹介し、青ネギ春苗への定植前施用を提案しました。

生産者からは「春苗にさっそく施用してみたい」との声が聞かれ、青ネギの反収増への意欲が高まりました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、青ネギの安定生産に向けて支援します。

加温開始後の花芽の様子はどうですか？～温室みかん部会現地研修会～



花芽を確認中

12月12、19日、JA高知県香美地区温室みかん部会が支部ごとに現地研修会を開催し、部会員計15名が参加しました。

参加者の園地を巡回しながら、加温開始日や防除履歴等の栽培管理や花芽の状況確認を行い、今後の栽培管理について研修しました。

農業改良普及課は、10月以降の結果母枝の養分分析に基づいた加温開始日を指導し、当日は今年度の傾向を参加者と共有しました。

今作は花芽を十分確保できた参加者が多く、「普段は花が少ない樹にも今年は花が多い」という意見がありました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携して、温室みかんの高品質安定生産に向けて支援します。